校長室だより第 27 号（令和 8 年 10 月 27 日）

修学旅行に行ってきました③

東照宮では、活動班で見学をします。『五重塔』や『陽明門』、『眠り猫』に『鳴き龍』、そして 300 段近くの階段を上ってやっと到着する『奥宮』などの見学を行うために班で計画を立てていたようなのですが、あまりにも人が多く予定通りには回れていないようでした。

果たして子どもたちは『陽明門』の美しさ、彫刻のすばらしさに気がつくことができたでしょうか。事前に『眠り猫』の逸話を勉強したはずですが、その逸話と実物を関連させて見ることができたでしょうか。私自身、6 年生の時に日光に修学旅行に行きましたが、東照宮のことは恥ずかしながら何一つ覚えていません。成人して訪れた時に、東照宮の美しさと歴史の面白さを感じることができたような気がします。子どもたちには少し難しいかもしれませんね。

東照宮での見学が終わり、お土産を買う時間となりました。お土産を吟味する目は、もしかすると東照宮を見学する目よりも鋭かったかもしれません。心優しきおぐらっ子は家族のためにたくさんのお土産を買っていました。たぶん。

たくさんの土産を抱えてバスに乗り込みました。45 分ほどでホテルに到着しました。バスを降りると、誰もが寒いと感じるほど、空気が冷えていました。日暮れに近づいたことと、標高が上がったことが原因だと思われます。子どもたちも職員も慌ててバッグから上着を取り出していました。入館式を終え、ホテルに入ると、その暖かさにホッとしました。

昨年の移動教室と違う点は、ベッドメイキング（シーツを敷いたり、枕カバーを付けたりする作業）をしなくてよいということ。ホテルだから当然ですが、ベッドメイキングに苦労した記憶のある子どもたちはホッとしていたかもしれません。

一休みしたら夕食です。大広間に全員が集まり、会話を弾ませながら、おいしい夕食をいただきました。気がつくと、大広間の前に数人の子どもたちが立ち、「修学旅行　裏パーティー」と声を挙げました。どうやら有志による出し物？パフォーマンス？があるようです。

それも、事前にオーデイションも行われていたそうです。（ちなみに、オーデイションの結果、全組合格。担任は参加者のやる気を見たかったようです。）

「修学旅行　裏パーティー」の様子は第 28 号でお伝えします。　　つづく